

1. 産業振興ビジョンの推進

(1)ビジョンの共有

- ・目黒区産業振興ビジョンは、区内の中小企業や商店街及び目黒区はもとより、区内企業を応援し、また新たな担い手となる区内在住者や在勤者、大学、NPO など社会的企業、ランドオーナーなどが共有すべきビジョンであり、区内産業の振興を図るための指針となるものです。区、各企業、関係団体が適切な役割分担のもとで、具体的に取り組みます。

(2)施策の展開にあたって

- ・施策を効果的に展開するために、まちづくりや福祉、教育など他分野の施策との連携に努めます。

(3)ビジョンのPR

- ・本ビジョンに対して中小企業や区民などが関心を示し新たな事業展開に繋がるよう、本ビジョンを広く十分に周知するとともに、進捗状況や成果についてもPRします。

2. 中小企業や商店街のサポーターの仕組み

- ・知識層やリタイア層などが中小企業や商店街のサポーターとして活かせるよう、その仕組みについて検討します。
- ・「区内全域を対象としたサポーター」や「商店街ごとなど一定地域を対象としたサポーター」など、そのあり方について検討します。

3. 各主体との連携

(1) 庁内の横断的な取り組み

- ・本ビジョンの推進にあたっては、区内部においては産業やまちづくりに係わる総合的な行政運営となるため、庁内の様々な関係課の連携が必要になります。このため、産業やまちづくりに係わる関連情報の共有や情報提供、計画や事業にあたっての相互調整など、庁内の横断的な体制を確立した取り組みが可能となるよう努めます。

(2) 区内や周辺の大学などとの連携

- ・大学の地域における知的拠点としての重要性がますます高まってきており、このため大学との連携を積極的に進め大学内の知的資産や人材などを活用することにより、区の産業施策の推進や人材育成、目黒区独自のブランドの創出などに向けた取り組みを進めます。

(3) 区内の様々な組織との連携

- ・従来から目黒区は、区内の経済団体との会議などにより、中小企業や商店街と連携を図りながら産業振興を進めてきましたが、今後もより一層、連携を強化するよう努めます。
- ・中小企業や商店街に関心がある区内在住者や在勤者、NPOなど社会的企業との連携について検討します。

4. 施策の進捗状況の管理

(1) 本ビジョンの進行管理

- ・本ビジョンに基づく産業施策の進捗状況を把握し、社会経済状況などの変化を踏まえ、検証を行います。検証にあたっては、区の産業経済団体などからなる協議の場を設置します。

(2) 本ビジョンの見直し

- ・本ビジョンは、平成 23 年度から 32 年度までの 10 年間にわたる計画ですが、社会情勢や地域における産業環境の変化などによって新たな対応が必要となる場合は、検証の結果などを踏まえ見直しを行います。